

お宝発見レポート

和みの会編

お宝＝暮らしの中の関係性

ひとりずつ、付箋に普段の生活で当たり前に行っている事、人とのつながりなどを書いてもらいました。この地区はどんな特徴があるのでしょうか？



つどいの場

- ・ 月3回の和みの会が楽しみ
- ・ 農協女性部のサークル活動に参加

仲間づくり

- ・ 町外のスポーツ教室（80人！）のボランティア講師
- ・ ボートレース場へ定期的に行っている

安否確認

- ・ 子供の見守り、交通安全の声かけ
- ・ 防災活動
- ・ 娘と買物、息子と毎朝電話
- ・ 定時に水やり
- ・ いとこへ料理のおすそ分け

健康づくり

- ・ 散歩、ゴルフ
- ・ ヨーガ教室、デイケア
- ・ 毎朝のテレビ体操、ラジオ体操
- ・ 神棚や仏壇の水替え

- そ ・ 好きなテレビを見る
- の ・ 毎日新聞を読む
- 他 ・ 地域のゴミ拾い
- ・ 食べ歩き





月3回、10年以上続いているつどいの場だけあり、お互いの事をよくご存じで、自分のことではなかなか筆が進まない方も、他の方のお宝行動について、たくさん教えていただきました。

和みの会は「仲間づくりの場」であり「安否確認」「健康づくり」の場となっています。また、庭の水やりも定時にしている方が多く、近所同士の自然な見守り・



安否確認の行動になっていました。散歩では、多度津山など決まったコースに早朝に出かけ、同じように毎日散歩をしている方がいるので、あいさつを



交わしたりと自然な交流の機会となっているようです。自分のための「健康づくり」と意識している行動でも、定時に外に出る等人目に触れる行動は自然とお互いの安否確認の機会となっている「お宝」行動なんだと意識していただき、続けて貰いたいと思います。



ありがとうございました。またお邪魔させていただきます！